

第8章. ガス栓に関する Q&A

Q1:「ヒューズガス栓のつまみを回してもガスが出ないのは何故ですか？」

⇒ ヒューズ機構が作動してガス通路を遮断したと考えられます。
原因は、ゴム管中のガスが透過し、ゴム管内部で“負圧現象”となり多量のガスが一時に流出して遮断したものと考えられます。
“負圧現象”は「長くて新しいゴム管」を使用した場合に発生する事が多く、冬期気温の低下によって発生することもあります。燃焼器具の器具栓とヒューズガス栓を一旦“閉”にして、つまみをゆっくりと“開”にすることで解決することができます。

Q2:「固定式燃焼器具にヒューズガス栓を使用してよろしいですか？」

⇒ 末端ガス栓は『法律施行規則（省令）』及び『告示』において、燃焼器具の区分とガス栓の接続は定義されております。固定式燃焼器具とガス栓の接続についても、燃焼器用ホース又は金属フレキシブルホース等はねじ接続でなければならないとあり、ヒューズガス栓との接続は禁止されています。

Q3:「一般住宅にマイコンメータを設置した場合でもヒューズガス栓の設置は必要ですか？」

⇒ ヒューズガス栓とマイコンメータは安全機器ですが、ヒューズガス栓は設定流量を超えれば即座に遮断しますが、マイコンメータは合計流量遮断設定値を超えるガスの消費量があった場合に遮断しますが、少量の場合は遮断しません。よって、事故防止にはヒューズガス栓の設置が必要となります。
ヒューズガス栓は、平成9年4月1日より、業務用・一般住宅等すべての設備に設置が必要となりました。

Q4:「配管の気密試験後に行う“エアーパージ”はどうしますか？」

⇒ ヒューズガス栓はエアーパージ専用の治具が準備されていますので確認して下さい。
検査孔付ねじガス栓又は検査孔付可とう管ガス栓を設置されている場合は、検査孔からエアーパージができます。

Q5：「ねじガス栓を“ビルト・イン・コンロ”に取り付けたが何か問題がありますか？」

⇒ ねじガス栓は、末端ガス栓の代替とはなりません。ねじガス栓の耐久性能は1,000回であるのに対し、可とう管ガス栓の耐久性能は10,000回（サイズ：1/2）です。ガス栓の選定を誤ると、耐久性能の乏しいねじガス栓では、ガス漏れにつながる恐れがあります。

Q6：「小型自動切替圧力調整器の出口に可とう管ガス栓を設置したが何か問題がありますか？」

⇒ 可とう管ガス栓は、「耐久性」は優れていますが、ガスの流量は少なく圧力損失は大きくなり、結果、“流量不足”となって、ねじガス栓の代用としては使用できません。なお、可とう管ガス栓（ロック機構）には『フレキ』と表示したものもあります。

Q7：「つまみが“開”になっているがガスが出ないのは何故ですか？」

⇒ ガス栓の本体内部に水や洗剤等が侵入すると、内部の部品が腐食し、つまみと栓の連動部分が破損して空回りしていると思われます。ガス栓を設置する時は、“水”・“洗剤”・“煮こぼれ”等の影響を受けない場所を選定する必要があります。

Q8：「設置工事後、ガス栓からガス漏れすることがありますが、何故ですか？」

⇒ ねじガス栓を配管に接続される時、ガス栓に過大な荷重または配管の応力等が加わって、ガス栓本体に歪みが生じたものと推察されます。配管との接続に際しては、軸心にずれがないように施工して下さい。

Q9：「末端ガス栓が清掃等時に冠水することがあります。影響は考えられますか？」

⇒ ガス栓が清掃時等により、冠水・水没しますと「つまみ」の中に水等が浸入し、スプリング・ワッシャー・栓等が腐食して、その結果「つまみ」が飛び出すことが考えられますので適切な設置場所を選定して下さい。冠水・水没等の恐れがある場所に設置される場合には、ポリ袋等で冠水防止に努めてください。